

◆大浦信濃守光信公五百年慰霊祭に参列

令和7年10月8日開催



津軽藩始祖・大浦信濃守光信公の没後五百年を迎え、種里城跡で慰霊祭が行われました。

光信公は1491年、現在の岩手県久慈市から36名の武将を率いて種里城に入部し、津軽統一の礎を築いたとされています。

当日は町議会から田中亨議長をはじめ10名の議員のほか、光信公とゆかりのある久慈市議会から濱欠明宏議長をはじめ7名の議員も参列し、先人の偉業をしのびながら、両地域の絆を改めて深めました。



出席議員 議長含めて10名